

Moshi-Mosu

V

もっと知れば、
もっと好きになる！
長岡市の歴史・文化財

Vol.23
2023
SUMMER



Stories.

このまちの物語。

まちをかたちづくる山や川。それらを彩る草木。古き時代から続く街道には昔の足跡、古い建物には歴史が息づく。人々の喜びや悲しみが刻まれた駅には別れと再会が交錯し、商店街や田畠には人々の暮らしがある。四季折々の移り変わりが見られる自然と調和した美しい景色、寺や神社、人々の心を癒す場所があちらこちらに共存するこの土地には、ここで生きる人々の思いや夢が詰まっている。このまちが、私たちにとって特別な場所である理由はそこにある。

このまちには物語がある——。

私たちはその一部として、それを紡ぎ続ける。未来を担う人々にとって、特別な場所であり続けることを祈りながら。



■ Take Free ■

このまちの、
ものがたり。

STORIES.
STORIES.

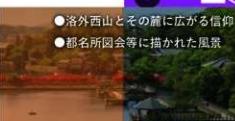
京都盆地の西の玄関口、交通の要衝として栄え、街並まいの庶民や遺構などが今歴史を伝えます。現在も、その利便性により、ベッドタウンと産業が共存しています。



大王の息吹



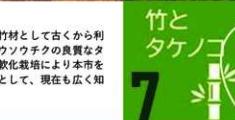
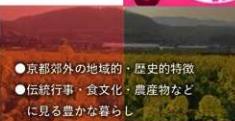
518年に「弟国宮」、784年に「長岡京」と2度にわたり都が置かれた。都の解明に人生を捧げた、中山修氏の記念館も市内にあります。



信仰と遊覧の地



戦国時代、周辺地域とともに西岡と呼ばれる連帯により暮らしが営まれました。細川藤孝が入った勝龍寺城は、山崎合戦で明智光秀の拠点となり、天下統一の舞台となりました。



乙訓地域の竹は竹材として古くから利用され、またモウソウチクの食質なタケノコは京都の軟化栽培により市を代表する特産物として、現在も広く知られています。

竹とタケノコ



長岡京には、古墳や城、寺、神社など様々な文化財がまちじゅうに点在しています。その一つひとつが価値と魅力を最大限に活かすため、「長岡京市文化財保存活用地域計画」では、時代の枠を超えて、自然や地歴、歴史、文化、文化財から本市の特色やテーマとなるキーワードを導き出し、7つのストーリーとしてまとめました。人とモノ、文化をつなぐこのまちだからこそ、巨大な古墳が造られ、王城の地となり、京都の繁栄を支えた人々の暮らしや信仰、文化があります。このような素晴らしい歴史文化を共有するだけでなく、組み合わせや繋ぎ方は人それぞれ無限につくっていけます。この機会に「このまちの物語」を考えてみましょう。



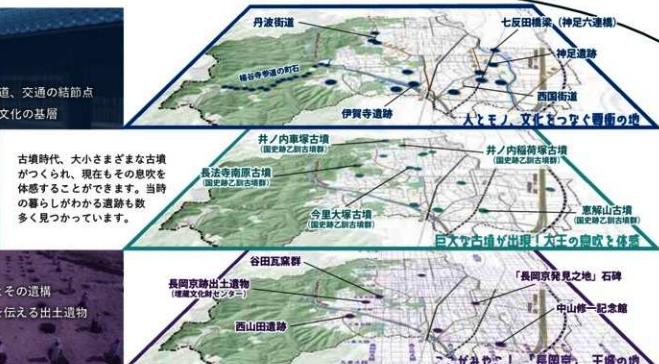
長岡京王城



518年に「弟国宮」、784年に「長岡京」と2度にわたり都が置かれた。都の解明に人生を捧げた、中山修氏の記念館も市内にあります。

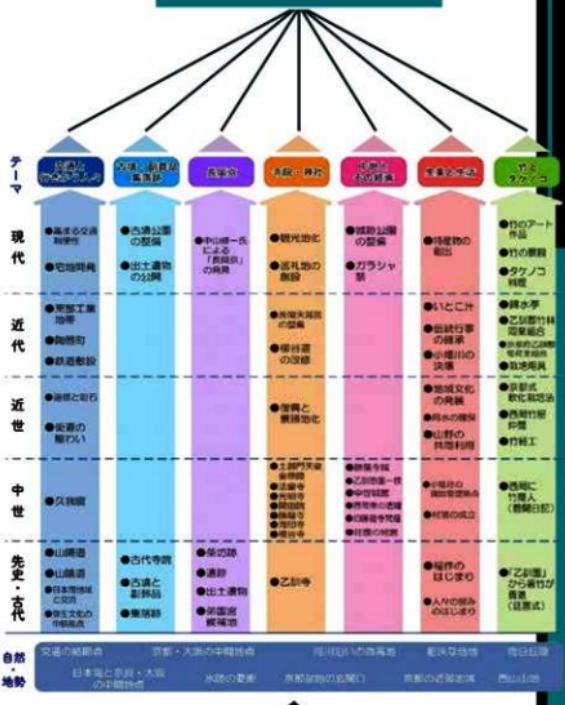


信仰と遊覧の地



さあ、このまちの物語を
探検してみましょう！

本市の歴史文化の特徴を
「7つのものがたり」
にまとめました。



このまちに隠された物語を発見しよう！

例えば、現在もまちの魅力の柱である「交通の利便性」は、実は歴史や文化財と密接に結びつきがあります。歴史的なトレンチや発掘された遺物だけでなく、信仰や生業もストーリーを形づくる重要な歴史・文化・文化財のキーワードです。



Topic!

長岡京市文化財 保存活用地域計画

キャッチフレーズは

歴史文化 × めぐる！かしこくらしつくなまちにせんと（遷都）！



長岡京市には、国や京都府、長岡京市によって指定・登録・決定されている文化財が、計 161 件あります（R5 年 3 月現在）。また、指定等はされていないものの、調査によって把握されている文化財は 1000 件以上にのぼります。こうした本市の歴史文化を、未来へ大切に引き継いでいくためには、行政だけでなく多様な主体が連携し、誰もが文化財に親しみ、その価値や魅力をともに磨きながら次世代へつなげていく取り組みが必要です。

そこで、歴史文化の特徴をわかりやすくするため、【7】つのものがたり、【8】つのビジョン、【4】つの基本方針にまとめました。今後は、歴史文化を中心として、つながり交わる、様々な人々の活動や思いを大切にしながら、歴史文化かけめぐるまちづくりへの取り組みを進めていきます。



[詳細はこちらへ](#)

7stories 8visions 4policies

私たちも春田市の歴史・文化・文化財の保存と活用に協力しています。

Discover the stories within!